



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 ホシザキ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 靖浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 水谷 正

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	76,057	3.5	9,649	11.2	10,271	22.5	7,041	23.3
2018年12月期第1四半期	73,519	5.2	10,860	11.2	8,386	8.5	5,712	6.2

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 7,437百万円 (171.7%) 2018年12月期第1四半期 2,737百万円 (47.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	97.23	
2018年12月期第1四半期	78.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	341,000	225,155	65.6	3,090.16
2018年12月期	334,879	223,510	66.4	3,068.86

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 223,791百万円 2018年12月期 222,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		80.00	80.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	153,300	2.2	19,400	9.5	20,350	1.2	13,600	2.6	187.80
通期	296,600	1.3	34,500	5.3	36,400	0.1	24,800	3.6	342.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	72,418,250 株	2018年12月期	72,418,250 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	981 株	2018年12月期	981 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	72,417,269 株	2018年12月期1Q	72,414,347 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融政策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は一部に弱さが見られるものの緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。一方で、個人消費は持ち直しが続くものの、消費者物価は横ばいで推移いたしました。

海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では一部に弱さが見られるものの景気は緩やかに回復いたしました。一方で、中国及びアジアの新興国では景気は緩やかに減速いたしました。また、為替は緩やかな円高傾向で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。

海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。

なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高760億57百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は、連結子会社であるホシザキ東海株式会社で判明した不適切な取引行為に対する第三者委員会の調査費用等により販売費及び一般管理費が増加し96億49百万円（同11.2%減）となりました。また、経常利益は、営業外費用の減少により102億71百万円（同22.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70億41百万円（同23.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

日本におきましては、冷蔵庫、製氷機及び食器洗浄機等の積極的な拡販並びに新規顧客への積極的な開拓を推進いたしました結果、売上高は519億40百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は71億53百万円（同14.2%減）となりました。

#### ②米州

米州におきましては、製氷機、冷蔵庫等の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は165億17百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は17億72百万円（同21.6%減）となりました。

#### ③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販を推進いたしました結果、売上高は98億40百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益は9億88百万円（同121.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ61億20百万円増加し、3,410億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ42億40百万円増加し、2,768億1百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金並びに原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ18億80百万円増加し、641億98百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産及び有形固定資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ44億76百万円増加し、1,158億44百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ40億79百万円増加し、923億23百万円となりました。主な要因は、賞与引当金並びに支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加し、235億21百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ16億44百万円増加し、2,251億55百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月7日の決算短信で公表いたしました2019年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	204,263	199,317
受取手形及び売掛金	31,183	42,132
商品及び製品	17,941	16,427
仕掛品	3,820	3,652
原材料及び貯蔵品	10,148	10,928
その他	5,354	4,509
貸倒引当金	△151	△166
流動資産合計	272,560	276,801
固定資産		
有形固定資産	43,962	44,949
無形固定資産	5,489	5,291
投資その他の資産	12,866	13,957
固定資産合計	62,318	64,198
資産合計	334,879	341,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,664	20,876
未払法人税等	3,760	4,334
賞与引当金	3,434	7,181
その他の引当金	1,641	1,648
その他	61,743	58,282
流動負債合計	88,243	92,323
固定負債		
退職給付に係る負債	19,118	19,245
その他の引当金	1,454	1,420
その他	2,551	2,854
固定負債合計	23,124	23,521
負債合計	111,368	115,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,008	8,008
資本剰余金	14,530	14,530
利益剰余金	204,123	205,372
自己株式	△4	△4
株主資本合計	226,659	227,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	181
為替換算調整勘定	△2,052	△1,850
退職給付に係る調整累計額	△2,507	△2,446
その他の包括利益累計額合計	△4,420	△4,115
非支配株主持分	1,272	1,363
純資産合計	223,510	225,155
負債純資産合計	334,879	341,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	73,519	76,057
売上原価	45,177	47,566
売上総利益	28,342	28,491
販売費及び一般管理費	17,481	18,842
営業利益	10,860	9,649
営業外収益		
受取利息	280	509
その他	133	166
営業外収益合計	413	676
営業外費用		
支払利息	15	22
為替差損	2,831	—
その他	41	31
営業外費用合計	2,887	53
経常利益	8,386	10,271
特別利益		
固定資産売却益	3	9
特別利益合計	3	9
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産廃棄損	7	0
特別損失合計	10	2
税金等調整前四半期純利益	8,380	10,278
法人税、住民税及び事業税	3,969	4,516
法人税等調整額	△1,338	△1,360
法人税等合計	2,630	3,156
四半期純利益	5,749	7,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,712	7,041

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	5,749	7,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	41
為替換算調整勘定	△2,980	212
退職給付に係る調整額	43	61
その他の包括利益合計	△3,012	315
四半期包括利益	2,737	7,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,692	7,347
非支配株主に係る四半期包括利益	44	90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(会計方針の変更)

「リース」(IFRS第16号)の適用

当第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社(米国基準を採用する米国子会社を除く)において、IFRS第16号「リース」を適用しています。この新しい基準により、リースの借り手において、原則として全てのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

なお、この適用による当第1四半期連結会計期間の連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,342	14,971	7,205	73,519	—	73,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,378	242	486	2,106	△2,106	—
計	52,721	15,214	7,691	75,626	△2,106	73,519
セグメント利益	8,334	2,260	447	11,042	△181	10,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△181百万円には、のれんの償却額△112百万円、無形固定資産等の償却額△45百万円、棚卸資産の調整額△26百万円、その他セグメント間取引の調整等2百万円が含まれております。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,567	16,222	9,268	76,057	—	76,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,372	294	572	2,240	△2,240	—
計	51,940	16,517	9,840	78,298	△2,240	76,057
セグメント利益	7,153	1,772	988	9,914	△265	9,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△265百万円には、のれんの償却額△112百万円、無形固定資産等の償却額△7百万円、棚卸資産の調整額△153百万円、その他セグメント間取引の調整等8百万円が含まれております。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。